

園長コーナー

引地 美津代

せいちょう発表会はいかがでしたか？

皆様の温かい拍手とまなざしに、試行錯誤しながら進めてきた発表会が、楽しく充実した時間とともに終わることができました。励ましのお声やうれしい感想をいただき、この結果をもとに来年はさらに深めていきたいと思えます。ありがとうございました。

思えば、今年の今頃は、建物の建築完成を間近に控え、白鹿博物館の会場での説明会や面接で、皆様とお会いし、スタートしました。

かえで保育園の保育の方針「一人ひとりの個性を大切に」「豊かな感性を育てる」をもとに、一人ひとりにあった環境を設定し、保育園の中で好きな遊びが展開できるように保育してまいりました。

こどもたちの遊ぶ姿をみて、4月が懐かしく、一年のめまぐるしい成長をうれしく思う3月です。

さて、3月の取り組みは、酒蔵見学や、ひな祭りのお茶会に続いて、お別れ遠足も予定しています。

24日(土)には7名の個性豊かなやさしいだいちさんの卒園式も控えています。子どもたちがそれぞれの思い出多い月になるよう楽しい企画を準備しています。

園庭に植えた玉ねぎやジャガイモ、こどもたちと植えたチューリップも芽を出し始めています。

誕生会では理事長先生が「お酒博士」になっていただき、お酒造りの工程を知って、翌日に酒蔵見学にも出かけます。(保護者の方々には、おいしいプレゼントもご用意しています！)

3月半ばには、クラスを移行して来年度準備に入ります。ワクワクドキドキのプログラムが待っています。

一日の過ごし方をその都度お知らせしていきますので、エントランスのボードや、掲示板を必ず確認ください。

職員とともに、こどもたちの無限大の可能性や興味をどのようにひきだしていくか・・・

何度も話し合いながら、日常の保育や行事を計画してきました。

そして、かえで保育園の一年も皆様に支えられながら、無事に終えようとしています。

保護者の方々のご支援、ご理解そして、温かく見守っていただきありがとうございました。

7名のだいちさんは期待を胸に巣立っていきます。 だいちさん！すてきな一年生になってね。



「ごあいさつ あそび」 作 きむら ゆういち

子ども達からも大人気の絵本、あそび絵本シリーズの「ごあいさつ」！とってもかわいくて、ついついページをめくりたくなる子ども達・・・他にも「いいこでねんね」・「いただきます」など、たくさんのシリーズがあります。是非お家でも子ども達と一緒に読んでみてください。子ども達のとてもかわいい姿を見ていただけたと思います。



「The Blue Day Book」

愉快？な動物写真と心温まるメッセージを組み合わせたユニークな写真集です。「誰でも落ち込む日がある」と思いますが、落ち込んだ時に読めば間違いなく元気になれる絵本です。

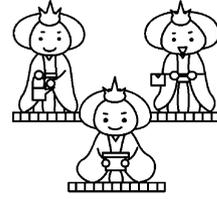
ある方からのいただきものですが、気分転換が必要な時、笑顔を忘れそうになった時に見るようにしています。



柴本 啓子



おしらせ



<3月予定>

- 1日（木）3～5歳児のみ、酒蔵見学にいきます。
9：15までに登園してください。見学希望されている保護者の方もランチルームに集まってください。子ども達とともに園から出発します。
- 2日（金）ひなまつり・お茶会
ひなまつりの由来等お話を聞いたあと、4，5歳児のみお茶会をします。
- 19日（月）お別れ遠足があります。全園児お弁当日となります。
2～5歳児は園外にでます。4，5歳児は水筒の準備もお願いします。
2，3歳児は園でお茶を用意します。
0～1歳児は園内で過ごします。
- 24日（土）卒園式があります。
3，4歳児は一緒にだいち組の門出をお祝いしますので、登園をお願いします。詳細は後日おたよりを配布します。
- 31日（土）新年度準備及び職員会議をします。家庭保育にご協力ください。

<4月予定>

- 2日（月）入園・進級式を行います。
詳細は後日おたよりを配布します。
- 2日～ ならし保育があります。
一人ひとりにあわせて、時間や日程をお伝えします。

<おねがい>

- 進級移行のため、3月21日よりお部屋の移動があります。
朝の準備や荷物の置き場所、帰る用意等を各クラスよりお伝えしていきますので、確認していただきますよう、お願いします。
- 記名が無いものや、薄くなっているものがありますので、大きく、しっかりとタグや裾に必ず記名してください。

おはなしコーナー

今月は

工藤 千尋 先生

寒さもピークを過ぎ、少しずつ日も長く感じられるようになりました。春はもうすぐそこまでやってきているようです。

さて、かえで保育園が開園して、もうまもなく1年が経とうとしています。昨年、私自身開園まで、どんな子どもたちに会えるのか、どんな園生活がスタートするのか、わくわくする気持ちとともに、想像できないことだらけで少し不安な気持ちもありました。

そして、一年保育者として過ごした今、ふと私自身の経験を思い出したので、すこし話させていただきます。

私は、幼い頃に引っ越しを3回経験しました。父の仕事の都合で、兵庫→神奈川→兵庫、と遠い地域を行ったり来たりしました。

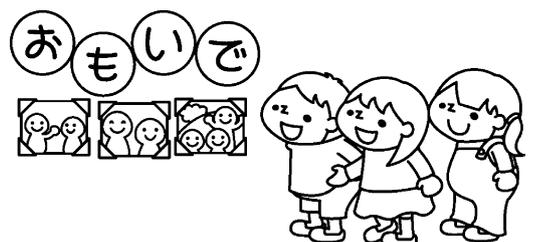
特に自分の中で心に残っているのが、小学校5年生のときに神奈川県から兵庫県に引っ越してきたときです。小さいときに少しだけ住んでいた地域だったのですが、大きくなってからは知らない子ばかり。「あたらしい友達できるかなあ・・・」「〇〇ちゃんとはまた会えるかなあ・・・」「うまくやっていけるかなあ・・・」とさまざまなことを考えながら、新学期がきてほしくない、そう思っていました。

「大丈夫、すぐに慣れるよ!」と言ってくれていましたが、今思うと、そうことばをかけてくれながらも、父も母も当時は心配してくれていたと思います。

いざ新しい生活が始まると、緊張しすぎて3日で熱を出してしまいましたが、そのうち、友達もたくさんできてきました。当時1番最初に話しかけてくれた子とは、今でも仲良くしています。

こうして環境が変わるたび、身構えていた私も大人に近づき、また、進学等の環境の変化があつてからは、新しい環境にも身構えてしまうだけでなく、どんな人と出会えるだろう、と前向きに考えられるようになってきました。親しい人と離れ、辛かったし、寂しい思いもしましたが、そこで全て終わってしまうわけではありません。せっかくできた繋がりを大切にしよう、そう思えるようにもなりました。

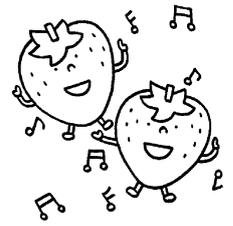
だいちぐみの子どもたちは3月、かえで保育園を卒園し、4月からは小学校に入って大きな1歩を踏み出します。様々な環境が変わる中、ドキドキワクワク、いろいろな気持ちがあると思いますが、かえで保育園での経験やつなかりを大切に、大きくたくましく育ててほしいと思います。



りょうりのへやから



まだまだ寒い日も続きますが少しずつ春の風を感じることでできる3月。寒暖の差が激しいことで体調を崩しやすく、インフルエンザなどが流行しやすい季節ですが、園では手洗い・うがいを徹底しています。おうちでも十分な手洗いとうがい、そしてお母さんのあったかいご飯で子どもたちの体を守ってあげてください。



さて、かえで保育園も開園して丸一年がたとうとしています。先日は発表会を無事に終えて、子ども達の一年の成長を深く感じられました。体も心も大きくなった子ども達は一つ学年が上がる準備ができたようですね。少しお兄さん、お姉さんになった春がとても楽しみです。

そんな春といえば3月は桃の節句。ここで桃の節句の由来や縁起物の食材についてご紹介します。

桃の節句の由来は古くは平安時代までさかのぼり、当時あった5つの節句のうち「上巳(じょうし)の節句」といわれるものが後に「桃の節句」になったといわれています。

この上巳の節句は、節句の日に野山で薬草を摘み、その薬草で体の穢れを取って健康と厄除けを願うものでした。この行事が後に、宮中の紙の着せかえ人形で遊ぶ「ひいな遊び」と融合し、ひな祭りの起源となっている「流し雛」(自分の災厄を代わりに引き受けさせた紙人形を川に流すもの)へと変わったといわれています。

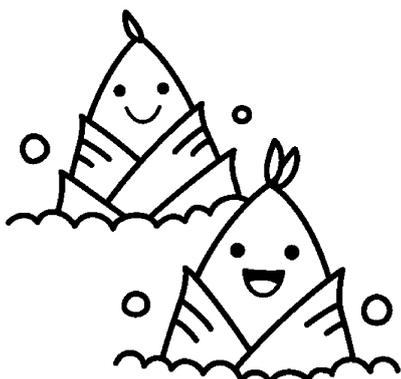
また、桃の節句の縁起物の食材としては、はまぐり、よもぎ、鯉(かれい)などが知られています。

- *はまぐり・・・女の子の美德と貞節を意味しており、お吸い物で使われることが多いです。
- *よもぎ・・・菱餅に使われ、その菱餅の緑は健康を表しています。
- *鯉・・・京都のひな祭りで使われることが多いようです。

と、いうようにそれぞれ意味を持っているようです。最近ではちらし寿司が定番ですが、なぜ定番になったかは不明なようです。ですが、彩も華やかで、女の子のお祝いの席に華をそえるという部分ではいいのかもかもしれません。

今月の3月3日は土曜日。おうちで子ども達とちらし寿司を作ってみて、家族みんなで食べるというのもいかがでしょうか。

児嶋 亜季





寒さの中にも少しずつ春の気配を感じ、梅のつぼみが膨らんできています。

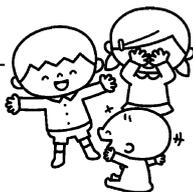
4月はおうちの人と離れるのが不安で泣くことしかできなかっためばえ組の子どもたちですが、今では自分から保育者の方に近づいて挨拶をしてくれるようになりました。

また、おやつの前には手を洗い、食事が終わると食器を片づけるなど、自分でできることがどんどん増えてきています。そして、できることが増えるたびに自信に満ちあふれた表情で喜びを体全体で表現してくれます。

「お外に出ようか！」と声を掛けると、帽子を入れている棚の方まで歩いて行って、とってとってと背伸びをして帽子の入れてあるカゴを指差します。1人ずつ名前を呼ぶと、手をあげて元気な声で返事をして帽子を受け取り、帽子をかぶろうと奮闘しています。時にはお友達に帽子をかぶせてあげようとする優しい姿も見られ、微笑ましく見守っています。自分のことは自分でやりたいという意欲もでてきて、保育者が手をかそうとすると怒られてしまうこともあります。

そして、靴箱から自分の靴をとってテラスまで持ってきてくれる時、自分で靴をとったことや外に行けるのが嬉しすぎて両手をブンブン振って、廊下に靴下がポツン……。靴下が入っていない靴を満面の笑みで誇らしげに見せてくれる姿がかわいくて、思わず笑ってしまいます。

あと残り1カ月でめばえ組の子ども達はふたば組に進級しますが、これからも大好きな子ども達との時間を大切に過ごしていきたいと思っています。



西村 友貴

先日の発表会はいかがでしたでしょうか。たくさんの方の前でドキドキしたり、そわそわしている姿もありましたが、思っていたよりも普段に近い姿をみていただくことができました。

6月の親子であそぼう、10月の運動発表会と、行事をひとつ経験するたびに、少しずつ成長していることを感じます。自分でできること、自分でしたいことが増え、私たちの援助を「いや！○○がする！」と嫌がることも増えてきました。その一方で、できるけど「できない」と甘えることも大好き、抱っこもたくさんしてほしいふたばさん。身の回りのことが少しずつできてきて、言葉も達者にはなっていますが、ぎゅっと抱きしめる触れ合いはまだまだ大事にしていきたいですね。

最近、友達との関わりが活発になってきました。今までと大きく違うところは、隣にいてもそれぞれが一人あそびを楽しんでいたのが、会話を楽しみ、相手の反応をみて笑いあい、子どもたちだけであそびが展開できるようになってきました。

お店やさんごっこでは「いらっしゃいませ」「どうぞ」のやりとりもできるようになりました。(時々開店休業のお店もありますが…) 今後も子どもたちの発想や想像をひろいながら、関係を広げていきたいと思っています。

また、今月は2階のつぼみ組での生活に慣れていけるように、数人だけで遊びに行ったり、夕方に過ごす時間をつくり、皆で体験しました。

階段はしっかりボールをもって登る、おもちゃは片付けてから次のおもちゃを出す、トイレの雰囲気慣れる等、新しい環境になることで、「やる気」スイッチが入ることもありました。

3月は過ごす時間を増やすことで、期待感や楽しい、うれしい気持ちにつなげていければ、と思っています。



中山 英子

つぼみ



子ども達と植えたチューリップも少しずつ芽を出し、春の訪れを感じます。

せいちょう発表会は、動物に変身したり、歌うことを楽しみながらすすめました。

当日は、いつもどおりの子、固まってしまった子、いつもよりパワフルになった子など恥ずかしさと見もらう嬉しさを感じながらの姿がありました。

この経験を通してまた一つ大きくなり、そして、幼児期へと成長していきます。「つぼみ組の時はこうだったな」と覚えておいて頂ければ嬉しいです。

さて、もうすぐつぼみ組での生活も終わりを迎えます。

クラスに入ることもトイレへ行くことも嫌がっていた子どもたちが、連絡帳を運んでくれたり、「紙芝居みたい」「サーキットしたい」「お絵かきしたい」と自分のしたいことを見つけ、楽しむようになりました。

話すことも難しかった4月から、少しずつ伝えることを知り、友達存在に目を向けられるようになりました。時折使っている玩具が欲しくて、隣に座りたくて…等でトラブルもありますが、これも友だちとの関わりが増えたからだと思っています。

3月は、ゆったりと友達同士やクラスで遊び、たくさん幼児さんとも交流し、いぶきぐみになる期待感をもちながら最終月を過ごしたいと思います。

この一年温かい目で見守って頂き、また様々な面でご協力頂けたこと嬉しく思います。

本当にありがとうございました。

錦織 香奈恵



いぶき・ひかり・だいち

先月はせいちょう発表会に向けて、劇あそびをしてきました。

いぶき組の“3びきの子ぶたとおおかみ”は、子どもたちの大好きな本の1つでもあり、その本を読む時は劇あそびの中で歌っていた“いえをたてよう”と“おおかみ”の歌を歌ってきました。子どもたちの大好きな歌になり、特に“おおかみ”の歌になると、急に低い声になり、眉間にもしわをよせながら歌っていたので、普段の姿を見てももらうにはこの題材がいいと思い、一緒に遊んできました。遊びの中で、スカーフがうまくつけられなかったり、友だちと言ひ合いになったりいろいろな姿がありましたが、その経験があつてこそ、本番ではいきいきとした、いぶきらしい元気でかわいい子ぶたとおおかみを見ていただけたと思います。裏話ですが、子ぶたとおおかみの役はその日の気分で、したい方を自分で選んでやっていたので、当日の役も登園してすぐにみんなで決めました。

ひかり、だいち組の“3まいのおふだ”は1月に人形劇クラルテによる“まてまてこそう”で使われていた歌を盛り込んで遊んできました。リズムのあるセリフ回しが子どもたちの中にもすぐ入り込み、休みの子がいた時には代役で全員ができるまでストーリーが頭の中に入っていました。自分の役が決定してからは、どのタイミングで準備をしたらいいかなど、遊んでいく中で発見し、「ここでしたらいいんだよね!」と自信が持てるようになりました。取り組みの中でこのような小さな自信がたくさんできて大きな自信となり、本番は緊張もありましたが、自分の役割を最後までやり遂げようとする姿が見てもらえたと思います。

開園当初は、自分よりも小さい子なのか大きい子なのかも分からない状況の中で、みんなが自分の思いを強く押し通すところがありトラブルも多かったですが、一年共に生活をしてきた中で、困っている子がいるとさりげなく声をかけたり、助け合ったりする姿が見られるようになりました。劇あそびの中でもそんな姿は見ていただけたのではないのでしょうか。恥ずかしくて本来の姿ではなかった子もいましたが、“人に見てもらふ、演じる喜び”を感じられたと思います。

さて、かえて保育園の1年がもうすぐ終わります。だいち組と過ごした1年を幼児で振り返り、ひかり、いぶきは、次のクラスへの期待をもちながらながら過ごし、そして7名の卒園児を皆で喜び温かい卒園式を迎えたいと思っています。

中川 奈津子